

住みよい小山をつくる会 第3回企画会議 議事概要

日時：平成18年4月20日（木） 午後7時～午後9時

会場：小山公民館 調理実習室

1 情報発信に関するワーキング結果について

- ・犯罪情報の共有化、下校時の呼びかけ、学校からの情報発信など、ワーキングにおける検討結果を報告。

（主な意見等）

情報の伝達

- ・前回の企画会議の要望に応え、ひばり放送で下校時の見守りの呼びかけが流されたがよく聞こえなかった。また、情報が流れても、実際に動ける人がいないといけない。事前に動く人を確保する体制をセットすることが大事。老人会を通して体制が組めないか。
- ・見守りを地域に周知徹底。受け取った情報を実際に動く人にどのように伝えるかが課題。
- ・動ける人に対面で重点的にお願いする人対人のコミュニケーションが必要。

見守り活動

- ・市が自治会や学校などに防犯パトロールに着用するジャンパーや腕章などを配布している。健全育成協議会でもジャンパー、腕章をつくり、12月の下校時パトロールに参加した市民に配布した。ジャンパーと腕章をセットで着用して見回りができると効果的。
- ・昨年秋、学校から自治会へパトロール依頼があり実施したが、今年に入って依頼はない。地域は学校からの依頼を待っている。そうした相互の調整に、つくる会を活用してはどうか。

ワーキングにおける検討結果を全体会に提案することとなった。

2 会則に関するワーキング結果について

- ・住みよい小山をつくる会会則（案）について、ワーキングにおける検討結果を報告。また、事務局より、安全・安心まちづくり推進協議会小山支部との整合性について報告。

（主な意見等）

懸念される問題点

- ・つくる会の会員に若くて活動的な人が参加するのか、在勤、在学の人にかに呼びかけ、活動してもらえるかが課題。会則案では、地域で活動する「在活動」も対象として幅を広げている。
- ・会則案14条で広報部会をおき広報担当とする。ホームページは広報担当がつくるのではなく、当面は公民館のホームページを活用し、会の情報を原稿にして公民館の担当に渡し掲載。

安全・安心まちづくり推進協議会小山支部について

- ・つくる会も「安全・安心」をテーマにしており、支部と重複するので整合性が問題。支部とつくる会は事務所も役員も同じで、当面は組織的に同一

のものとしてほしい。

- ・会則案の2条、4条などを見ると、つくる会は安全・安心だけでなくほかのテーマにも取り組むという趣旨だから、活動の範囲は支部よりも広いものになると理解する。つくる会の活動の一環として安全・安心をテーマにした支部の活動もやるべきである。

ワーキングにおける検討結果を全体会に提案することとなった。

3 こども110番の家の見直しについて

- ・共働きで下校時に人がいない家がある。健全育成協議会で以前作った110番の家マップの情報が古くなっている。自治会長の権限で、ふさわしくない家は外している自治会もある。
- ・通学路を重点的にチェック。110番のステッカーが子どもの目線に入らないところに貼ってある。

こども110番の家の見直しについて、全体会に提案する。

4 今後の日程について

- ・第2回全体会の日程は当初予定の5月18日(木)ではなく、6月1日(木)午後7時に変更する。
- ・議事次第：
 - 情報発信ワーキング報告*チラシ作成担当者の決定
 - 会則案ワーキング報告*役員選
 - こども110番の家見直し
 - 安全・安心まちづくり推進協議会小山支部について
- ・第4回企画会議を5月11日(水)午後7時から小山公民館にて開催する。